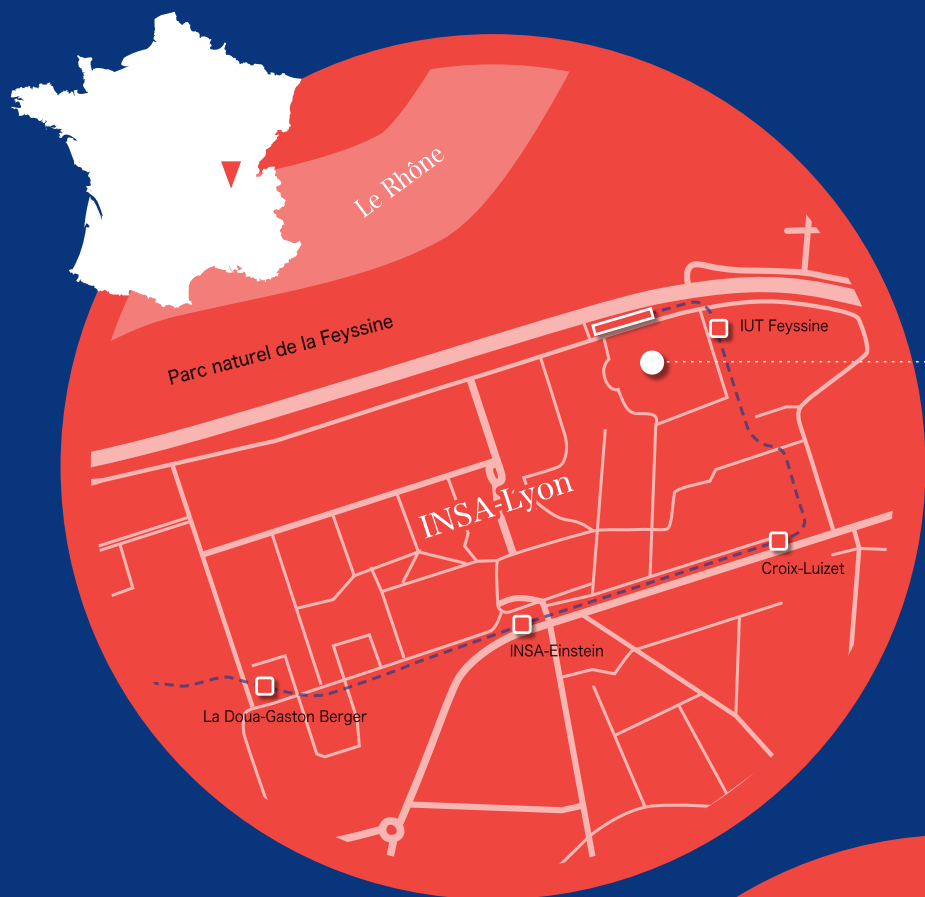
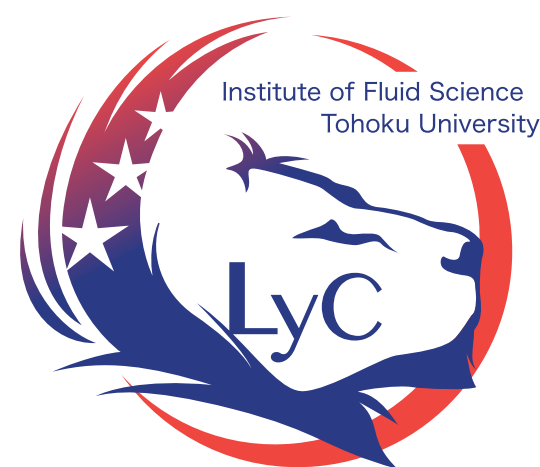




ELyTMaX@INSA,
INSAVALOR
Bâtiment CEI-1 - BP 52132,
66 Boulevard Niels Bohr,
69100 Villeurbanne, FRANCE

--■-- Lyon Tramway T1



Lyon Center

Institute of Fluid Science, Tohoku University

東北大学流体科学研究所 リヨンセンター

ELyTMaX@ECL,
Bâtiment TMM-23,
École Centrale de Lyon,
36 avenue Guy de Collongue,
69134 Écully cedex, FRANCE

Arrêt de bus: Campus Lyon Ouest

03, 04 55

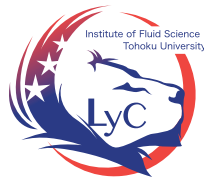


Lyon Center(LyC) -Integration Research Center for Materials and Fluid Sciences

<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/LyC/eng/>

<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/LyC/jpn/>

Lyon Center(LyC) -
Integration Research Center
for Materials and Fluid Sciences

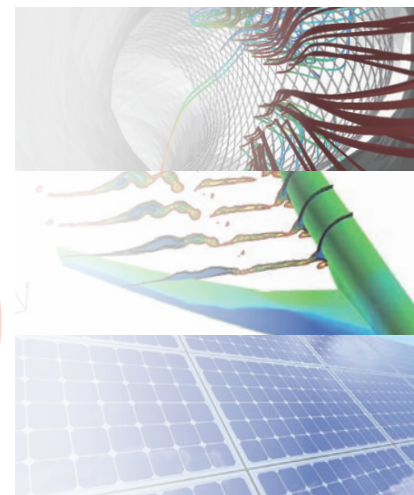


About Lyon Center

To explore interdisciplinary science based on fluid and materials sciences to answer current social challenges in the fields of transportation, energy and engineering for health, IFS aims at establishing an international research network in collaboration with Université de Lyon and CNRS, France. For the long term challenge, IFS has established Lyon Center-Integration Research Center for Materials and Fluid Sciences-at Université de Lyon (INSA-Lyon, École Centrale de Lyon), and faculty member and graduate students stay and promote joint works. These actions will contribute to the activity of the French site of the International Joint Unit ELyTMaX (CNRS-Université de Lyon-Tohoku University).

2018年4月に東北大学流体科学研究所は、リヨンセンターをリヨン大学内に創設いたしました。本センターでは、本研究所および国内の流体科学分野の研究者とリヨン大学を中心とした材料科学分野の研究者が共同研究を行うとともに、この共同研究活動を通して若手研究者と学生を育成します。

流体科学研究所は流体科学を基盤に異分野の学術領域が融合する新しい課題解決型学問領域を開拓し、エネルギー、次世代輸送システム、医工学の応用分野で社会的な課題に挑戦してきました。さらなる進化と発展のために、欧州有数の材料科学研究拠点であり、有数の産学連携拠点であるリヨン大学 (Université de Lyon) に拠点を設置し、海外研究ユニットの運営、双方の強みを活かした共同研究、世界をリードする人材育成に取り組んでいます。



Members



Tetsuya Uchimoto, Director of the Lyon Center
センター長 内一 哲哉教授



Jean-Yves Cavallé, Specially-appointed Professor (Professor Emeritus, INSA-Lyon)
Jean-Yves Cavallé特任教授(客員) <INSA-Lyon 名誉教授>



Makoto Ohta, Professor
太田 信教授



Atsuki Komiya, Professor
小宮 敦樹教授

Message from LyC



Jean-Yves Cavallé, Professor

Working at IFS Lyon Center and living in Lyon will give you the best opportunity to combine your passion for science and discovering a culture where good taste and beauty are as important as in Japan, but so different! You are welcome to join us!

流体科学研究所のリヨンセンターでの研究やフランスのリヨンでの生活はあなたにとって最高のチャンスとなるでしょう。日本とはまったく違う海外の文化を体験しながら、研究に打ち込むことができますし、リヨンには美味しいものや美しい風景がたくさんあります。プログラムへの参加をお待ちしています！

Students' Voice



Ryo Watanabe, Heat Transfer Control Laboratory

渡邊 峻 小宮研究室 学部4年 伝熱制御研究分野

多孔質膜がタンパク質の移動にどのように影響しているのかを特殊な干渉計を使い可視化することにより、最適な多孔質膜の特性について研究しています。流体科学研究所とリヨン大学のINSA-Lyonとの共同研究により、いろいろな形状の多孔質膜をINSA-Lyonにて作製し提供してもらうことが可能になりました。

リyonはとても美しい街で、英語も通じるので快適な滞在でした。土日には大好きなサッカーを見に行ったり、旧市街を散歩したり、マルセーユまで旅をしました。学生時代にこのような体験ができることはとても貴重だと思います。海外での研究はわからないことを常に確認をしながらの連続だったため、最後には英語でのコミュニケーションにも慣れることができましたし、日本での研究環境がとても恵まれていることを実感しました。この経験をこれからの修士課程の研究生活にいかしていきたいです。



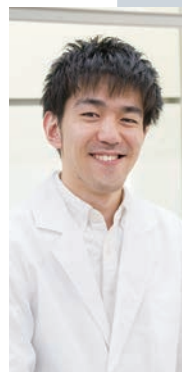
Kazuki Ozawa, Aerospace Fluid Engineering Laboratory

小澤 一輝 大林研究室/下山研究室 修士課程2年 航空宇宙流体工学研究分野

飛行機の設計において最適な形状やパーツの組み合わせ(最適化)をシミュレーションで算出する研究を行なっています。流体科学研究所で行ってきたこのシミュレーション研究をさらに向上するためにリヨンセンターが設置されているリヨン大学のÉcole Centrale de Lyon (ECL)に3ヶ月間滞在し、研究を行いました。新しい技術とのコラボレーションを行い、予測の精度をより高めることが可能になりました。

フランスでの研究生活において強く感じたことは「コミュニケーション」と「自発性」の重要性です。話の進め方、要点の伝え方などにおけるコミュニケーションのコツが見えてきました。ディスカッションがスムーズに進むと、想像を超えたアイデアが飛び出すのです。

卒業後は、飛行機のエンジンの研究開発に携わります。海外での経験、さらには流体研で学んだことをいかし、グローバルな視野を持つ研究者として活躍していきたいです。



Yuta Muramoto, Biomedical Flow Dynamics Laboratory

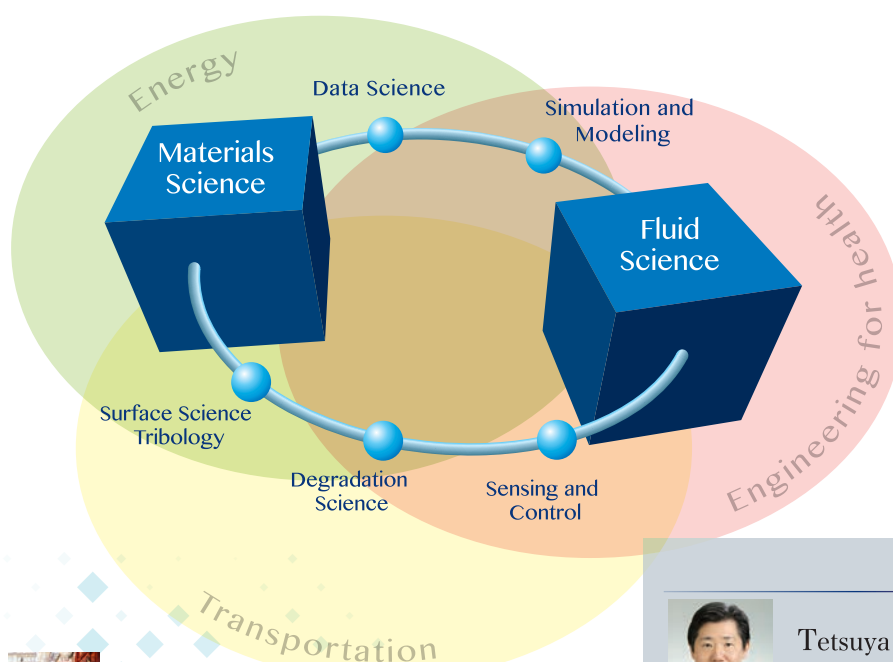
村元 雄太 太田研究室 博士課程2年 生体流動ダイナミクス研究分野

現在、人体の骨に近い切削特性を持つ生体材料の開発研究をしており、骨の切削に要する力を調べるために、École Centrale de Lyon (ECL)に滞在し、ドリルの試験機を使って実験を行いました。ドリルを使用した際の模擬骨の切削特性がわかったことで、さらに本当の骨に近づけることができました。

この滞在はリヨンセンターの支援制度のほか、大学のダブルディグリー制度を利用したものでしたので、生活や手続きに関することなどたくさんの人が助けてくれました。センターがあることによって、いつでもサポートしてくれる人がいることはとても心強かったです。

リyonは晴れ間が多く、夏は暑いですが、湿度が低いので快適に過ごすことができます。日曜日にはマルシェが開催されるので、よく野菜や果物を買に行きました。

フランスでの研究生活は日本とは異なり、お互いが積極的に質問をしあい、理解を高めていくというもので、とても新鮮でした。



Lyon Center
Institute of Fluid Science, Tohoku University